

# 北陸学院高等学校、北陸学院大学短期大学部 資格の「単位認定」で 学生のモチベーションが向上

キリスト教に基づいた教育で、人間性豊かな人材を育み続けてきた金沢の伝統校、北陸学院。マイクロソフト認定資格は、その高等学校と大学の短期大学部に導入されており、着実に実績を上げています。高等学校と短大の双方の学校で、試験対策講座を担当している情報科 非常勤講師の辰島裕美先生にお話をうかがいました。

## 高校・大学でMicrosoft® Office Specialistを導入

——認知度の高さが決め手に

北陸学院の前身である金沢女学校は、1885年(明治18年)にキリスト教の信仰に基づく女子教育を目的として米国のキリスト教宣教師団によって創設されました。以来、120年以上にわたってその伝統を育み、幼稚園から大学まで、キリスト教による人格形成を基本とした一貫教育を行っています。

そして、2008年に北陸学院短期大学から、北陸学院大学と北陸学院大学短期大学部に改組し、全学男女共学となって新たな一歩を踏み出しています。

“Realize Your Mission.(あなたの使命を実現しよう)”をスクール・モットーとする北陸学院では、使命を実現する——「なりたい自分」に近づくための一助として、資格取得の支援にも力を入れています。そうしたなか、マイクロソフト認定資格も同校で推奨されている資格のひとつになります。

北陸学院高等学校に、Microsoft Office Specialist (Word と Excel®) が導入されたのは1998年。その経緯を、情報科 非常勤講師の辰島裕美先生はこう話します。

「当時はまだ女子高だったんですが、高校を卒業するとき何か就職に有利なコンピュータの資格を取らせてはどうか、ということになりました。とはいえ、世の中で広く認知されている資格でないと取得しても意味がない。それならよく知られているMicrosoft Office Specialistが良いだろうということになり、導入が決まりました」

高校での実績が評価され、2003年からは北陸学院短期大学(当時)でもMicrosoft Office Specialistを導入。そして、2005年には試験会場登録校となり、学内での受験が可能になりました。「実際は、高校生よりも大学生のほうが就職に対する意識が高いので、本来は、この資格のニーズも大学生のほうが高かったんでしょうね。卒業生からも、『会社に入ったらパソコンが使えないと絶対困る。でも就職したらコンピュータをトレーニング

する時間はなかなか取れない。仕事は会社に入ってから覚えていくしかないけど、コンピュータは学生のうちにマスターしておくべき。学生のうちにやっておいて本当に良かった!』というような話はよく聞きます。それと、大学はいろいろな高校から学生が入ってくるので、コンピュータを使いこなせるレベルは、一人ひとりまちまちです。そうしたレベルを合わせるという意味でも、マイクロソフト認定資格は有用だと思います」(辰島先生)

## 資格取得で単位認定

——学生のモチベーション維持に貢献

その後、学院内のマイクロソフトOffice製品のバージョンアップに伴い、2008年度の入学者からMicrosoft Certified Application Specialist (以下、MCAS) に移行しています。

高校では、希望者にMCASのWordとExcelを受験させるほか、3年生の選択科目「情報演習」に、MCASのPowerPoint®が取り入れられています。

一方、大学では、2006年度から「検定対策」という科目で、WordとExcelがそれぞれ1単位認定とされており、さらに2008年度からは、

- 「MS-Office I (WordとExcel)」(前期)
  - 「MS-Office II (PowerPoint / 活用)」(後期)
- において、マイクロソフト認定資格の取得が単位認定の条件となっています(WordとExcel両方取



兼六園や石川県立歴史博物館などの、伝統文化に彩られた施設が建ち並ぶ「本多の森」に隣接する北陸学院高等学校

得で1単位、PowerPoint取得で1単位)。

このように、資格試験に合格しなければ単位がもらえないとなると、その科目を選択する人数が減ってしまうのではないかという危惧が生じますが、辰島先生はそれを否定します。

「資格取得で単位がもらえるということで、逆に学生の意識が変わったように思います。単に、この半期はコンピュータの授業をやりましょうというより、資格を一つ取りましょうというほうが、学生のモチベーションが維持できます。また、授業内容をキチンと理解していれば、“合格”という手ごたえが得られますから、この授業を選択すれば資格がついてくるという感覚なのかもしれません。もちろん、取得した資格を履歴書に書ける点も、学生にとって好材料なんだと思います」

さらに、2008年の入学者からは、高校でマイクロソフト認定資格を取得すると、それが大学短期大学部で単位認定として認められているとのこと。これは、連携しやすい系列の高校・大学だからこそ可能とはいえ、本学院の学生にとってはメリットと言えるでしょう。

## 合格率はほぼ100%

——一人ひとりにきめ細かい指導で

試験対策講座は、高校・大学とも辰島先生が担当しています。高校は期間を設けて年に2回。受験希望者には、課外補習として試験対策講座を実施し、その後試験対策教材に付いている模擬テストを繰り返し練習する「トレーニング」期間をとって、十分に実力がついたところで受験します。大学も、授業以外に週1回(前期・後期各15回)の対策講座を行い、高校と同様の模擬テストを繰り返すトレーニング期間を設けて、確実に合格できる力がついたタイミングで受験させる、という体制が採られています。

「合格できるレベルになるまで試験を受けさせませんから、合格率はほぼ100%。『その代わり厳しいわよ』と学生には言っているんです(笑)。トレーニングは、一定のレベルに達するまで続けますし、それに従ってもらいます。例えば、目標に設定した点数が出るまで同じ問題を繰り返すようにとか、次の講座までに模擬テストを何回やってきなさいとか、模擬テストに取り組むまでの力がついていない場合は、その前提となる模擬問題集を改めてじっくりでやらせるなど、学生一人ひとりの進み具合に合わせて指導していきます。もちろん、習得時間には個人差がありますから、最初

から無理をさせたり、習得スピードにこだわるのではなく、着実にスキルを身につけさせていくことを心がけています。でも、マイクロソフト認定資格は、しっかり目標を立てて取り組めば必ず合格できる資格なので、最終的には、受験した全員が合格しています」(辰島先生)

本学院における、各人に合わせたきめ細かい指導。しかし、基本は必ず自分で目標を立てさせ、その目標に沿って進ませていくことを助けるための指導だと言います。方向を間違えたり、脱線したりしないよう見守るが、あくまでルールを敷くのは自分。つまり、お仕着せの指導にならないよう配慮がなされているわけです。そのうえで、一つのことを成し遂げて、“資格”という結果を得られることは、学生たちにとって大きな自信につながります。「例えば、自分で何か勝負できるものを持っている学生には、“資格を持っていると有利だよ”といったことはあえて言わないんです。でも、特に熱中しているものがない場合とか、コンピュータに苦手意識を持っているような学生には、資格を取るように勧めています。資格を取得したことで自信をつけ、性格まで明るく変わったりする学生が、数は多くありませんが、毎年必ずいるんです。最初の頃は、『コンピュータが私を嫌っている〜』と言っていた子が、合格すると『私、コンピュータでできるから』と言って、後輩に一生懸命に教えていたり(笑)。そういった点でも、マイクロソフト認定資格は魅力があると思います」(辰島先生)

## 各人に合った役割を見つけてアドバイス

——資格を次のステップに活かすために

とはいえ、資格は一つの手段。資格取得そのものが最終目的ではなく、その資格をどうやって自分の武器に結びつけていくのが大事だと辰島先生は言います。

「資格を取って、さらにそこからこんなことができ



緑に囲まれた高台にある北陸学院大学短期大学部。写真は、その他さまざまな施設が立ち並ぶキャンパス内にある本館。

るようになりたいとか、資格を土台にしてこういうことがわかるようになりましたというように、一つ上の段階へ導きたいと思っています。対策講座で教えるときも、現在は、高校生や大学生に興味を引くような例を用いて話していますが、そこをもう一歩進めて、就職してから実際に使うような題材を例にして説明するようにしていきたいと考えています」(辰島先生)

パソコンスキルや資格は最終目的ではない——。苦手をなくす、基礎を固める、何かのきっかけをつかむ、といった各学生に合った役割を見つけながら資格を取らせていきたいという辰島先生。マイクロソフト認定資格が学生たちの人生のなかでそれぞれの意味をもち、次のステップへの重要な一歩となるように——。北陸学院では、これからも多くの学生が、マイクロソフト認定資格の取得を“次”のステージに活かしていくことでしょう。

北陸学院 <http://www.hokurikugakuin.ac.jp/>

所在地 北陸学院高等学校・石川県金沢市飛梅町 1-10  
北陸学院大学短期大学部・石川県金沢市三小牛町イ11番地  
学生数 北陸学院高等学校 / 325人、北陸学院大学短期大学部 / 534人  
北陸学院の前身、金沢女学校は1885年の開校。2010年には創立125周年を迎える。学校法人北陸学院は、2つの幼稚園、小・中・高校、大学、短期大学部で構成。北陸学院大学は、人間総合学部幼児児童教育学科、社会福祉学科、短期大学部はコミュニケーション文化学科、食物栄養学科から成る。北陸学院高等学校は、中高一貫の進学コース、高校からの特別進学コース、英理進学コース、一般進学コースに分かれている。



取材ご協力  
北陸学院大学短期大学部  
北陸学院高等学校・中学校  
情報科  
非常勤講師 辰島 裕美さん